

2018年3月30日

2018年度統計関連学会連合大会のお知らせ（第二報）

— 企画セッションの公募 —

運営委員長 笛田 薫（滋賀大学）

実行委員長 鎌倉稔成（中央大学）

プログラム委員長 汪 金芳（千葉大学）

今回で17回目になる2018年度統計関連学会連合大会について進捗状況をご報告いたします。今大会は応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の6学会主催、中央大学後援により開催する運びとなりました。初日の9月9日（日）はチュートリアルセッションと市民講演会を、一般講演などは2日目以降（9月10日（月）～13日（木））に、会場はいずれも中央大学後楽園キャンパスで開催いたします。

この第二報では、主に企画セッションの公募をご案内いたします。今後、連合大会のホームページ

<http://www.jfssa.jp/taikai/2018/>

に関連情報や詳細情報を随時掲載していきますので、ご覧ください。（トップページは近日中に公開予定）

1. 企画セッションの公募

統計関連学会連合大会プログラム委員会は、市民講演会、チュートリアルセッション、企画セッション、コンペティションセッション、ソフトウェアセッション等を担当しています。統計関連学会会員の皆様でご意見やご提案をお持ちの方は是非お知らせください。

また、企画セッションに関しては、今回もこれまで通り公募します。広い意味で統計学の発展への寄与、統計学の社会的使命に関わる企画、英語によるセッション等のご提案を歓迎します。なお、応募が多数の場合にはプログラム委員会で調整させていただくこともありますのでご了承ください。

企画セッションの申込みに際しては、

- 1) セッションのテーマとねらい
- 2) オーガナイザーの氏名・所属・連絡先
- 3) 予定講演者の氏名・所属・演題名・使用予定言語（日本語または英語）

をメールにてお知らせください。企画セッション1件あたりの時間は120分を予定しています。講演件数・講演方法などは、この時間の範囲で自由に設定いただけます。

企画セッション応募締切り

2018年4月23日（月）17:00 [厳守]

企画セッション応募先

kikaku2018(at)jfssa.jp (at)を@に置き換えてください。

担当責任者 佐伯 浩之（富士フイルムR I ファーマ株式会社）

2. その他の準備状況のご報告

2.1 コンペティションについて

「コンペティション講演」に関わる事項は次の通りです。コンペティション講演は、研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画です。参加資格は2018年4月1日時点で満30歳未満の若手研究者（博士後期課程院生を含む）、または、講演時に学部学生や修士課程（または博士前期課程）院生（年齢を問いません）です。連名講演の場合、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方です。なお、研究報告の申し込み時点でコンペティション対象者は、主催6学会のいずれかの会員でなければなりません。ただし、申し込みと同時に入会手続きをする方も含みます。コンペティション応募総数は年々増加傾向にあり、プログラムを組むのが難しくなっています。したがって、今年度は申し込み順でコンペティション参加件数を制限することがあります。審査は、報告集の内容と当日の口頭発表に対して、各学会から選出された審査員による総合的な評価で行います。

2.2 チュートリアルセッション、市民講演会、ソフトウェアセッションについて

9月9日にチュートリアルセッションおよび市民講演会を開催予定です。多くの市民や研究者の方々にとって興味を持っていただける内容を企画中です。皆様の積極的な参加をお待ちしています。また、昨年と同様にソフトウェアセッションについても計画しています。詳細は、第三報でお知らせいたします。

2.3 一般講演申込、報告集原稿提出、事前参加申込について

一般講演や参加の事前申込み、報告集原稿提出はホームページ上で行います。一般講演申込の締め切りを5月下旬（予定）とし、それ以降、報告集原稿提出および事前参加申込の締め切りを設定いたします。確定した期日や具体的な企画は、2018年5月上旬頃発行予定の第三報でお知らせいたします。